

ドリームピョニ

発行：松江市八束公民館運営協議会 〒690-1404 松江市八束町波入2060 Tel(0852)76-3663 Fax(0852)76-3669



(広島大学の調査結果は5ページ参照)



Dr. Tetsuya Kato is a middle-aged man with short, dark hair, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a solid light blue.

大根島の魅力発信プロジェクトチーム
アドバイザー（松江市八束支所長）

②電溪羽探検 1)14:00~
約25分 2)14:40~

③中村元記念館(支所2F) 1)14:40~
約15分 2)15:20~

①スタート地点(由志園内) 1)13:30~
約15分 2)14:10~
受付 12:00~開始

禁されるよう、松江市文化財課と連携し進めていきます。大根島の2つの溶岩洞窟は、富士山麓の樹海とここにしかない貴重な天念記念物であり、全国からもっと多くの方が洞窟探検に訪れるよう宣伝を強化したいと思っています。

最後に三つ目の挑戦が、島のお勧めスポットを楽しむ巡ってもらうためのコースづくりです。プロジェクトチームの最大目標として、昨年の結成当初からテストと検討・研究を重ねてきました。実際に、由志園で絵地図を手にとられた方から頂いたコメントで一番多かったのが、「次はどこに行くといいいですか」、「おすすめコースはありますか」など、由志園以外の島内のお勧めスポットにもぜひ行ってみたいとの声でした。このようなニーズに応えるためにも、大根島ならではの島巡りコースを3つ程度完成させる計画としています。

このコースについては、プロジェクトチーム代表の豊島美紀さんを中心にチーム一丸となって、令和7年度中に成功の軌道に乗せるよう取り組んでまいります。



竜溪洞入口



童溪洞入口

島巡りお勧めコースづくりの考え方
 柏木・大根島を盛り上げるため、プロジェクトチーム代表の豊島美紀さんと妻と3人で2018年に(株)W・L・D.(We Love Daikonshima)を設立し、中海クルーズや大豆オー

- 〈座談会 メンバー〉
- プロジェクトチームメンバー
 松江市八束公民館長 池田 均
 WLD取締役 柏木 利徳
 八束オートサービス取締役会長 安部 薫
 八束公民館主事 宮崎 麻衣
 ●プロジェクトチームアドバイザー
 松江市八束支所長 荻野 智
 ●島巡りコースのモニター参加者
 島大生3名

ナー制度など島の活性化事業を複数展開してきておりますが、プロジェクトチームのメンバーとしても目標達成に向けて日々頑張っているところです。この目標の一つである島巡りコースの造成については、参加者がマップに描かれた様々なポイントの中から選んで、大根島にしかない自然や文化に深く触れていただけるようなコースにしたいと考えています。そのために、魅力あるコンテンツをテーマに沿ってコース上に散りばめるとともに、それぞれの場所で価値ある体験や食を提供できるようにして、誰と一緒に参加しても楽しかった思い出として残るよ

**由志園スタートコースの
 試行実施の状況と感想**
 宮崎 私はプロジェクトメンバーとして受付事務をした後に、コ

うなコースを目指していきます。
 池田 島のお勧めスポットを巡るコースづくりは、日本庭園由志園を訪れるファミリー層や小グループをターゲットとしたコース設定が考えられます。先進地事例として、兵庫県城崎温泉周辺で実施中の電動モビリティを活用したコースなどが参考になると思います。大根島の際立った特徴である溶岩洞窟や中海周辺の景観を生かしたコース設定が良いと思います。

スも体験しました。由志園入客は受付にあった宣伝のぼり旗や電動バイクに注目し、洞窟探検の内容などを聞いていました。コース体験のスタートは由志園内の大根島ジオラマ前で、島独自の発展の仕方を楽しく学べました。続いての竜溪洞では、皆さん真剣に地下生物を探したり、積極的にガイドに質問して



由志園前でのコース参加受付の様子



のぼり旗 渡部みはるさん作成

※9/21、10/26開催で54人参加(約半数が県外客)

特集
 第21回
座談会

『三つ目の挑戦..島のお勧め
 スポットを巡るコースづくり』

大根島・江島は、ここにしかない恵まれた自然、生物、産業、暮らしなどを体験的に学ぶことができる島です。このことから、現在、島のプロジェクトチームでは、ファミリーなど新しい客層の方が複数の体験を通じて、楽しく巡っていただけるようなコースづくりに取り組んでいます。本日は、関係の皆様方にお集まりいただき、島のお勧めスポットを巡るコースの完成に向けて対談しました。



電動バイク試乗体験の様子

▲座談会メンバー
左端:宮崎麻衣さん
左から3人目:荻野 智さん
右端:池田 均さん
右から3人目:柏木利徳さん



波入親水公園前



モニター参加した島大生の皆さん(3名)



城崎温泉での

電動モビリティ試乗体験の感想

柏木…走行コースの景観や乗り心地につながらる路面状態について、大根島を走った場合のイメージと比較しながら走行しましたが、満足度で十分勝る大根島コースがつくれると自信ができました。なお、おすすめコースの案内やガイドマップは、参考にすべき点が多くありました。

島大生…今回のコースは、少しの好奇心から大根島の特徴的な自然や生物のすごさを楽しく学べるもので、とても良いコースだと思いました。複数のコースがあったらもっと楽しくなりそう。電動バイクは身近に無い乗り物だったので、とてもわくわくして初めて乗れました。

宮崎…私はバイクで公道を走るのは少し不安でしたが、スタッフからしっかりと説明してもらい、



城崎温泉周辺ルートでの試乗体験

電動モビリティを活用した コースづくり

安部…一部の観光地において、若年層の短時間観光に対応した小型電動モビリティのレンタルが人気となっています。自転車よりも楽に、バイクよりも手軽に乗ることができ、また、景色を堪能するのに丁度いいスピード感と爽快感が人気の秘密のようです。

練習走行も行えたので安心して出発できました。実際にお勧めコースを走って見たところ、大根島の方が安全かつ楽しく走れそうと感じました。運営面で参考になった点は、お客様が撮った写真について、許可を得て積極的にSNSにアップして次のお客様を呼び込む仕掛けでした。花の島である大根島には写真スポットが多数あるので、若い世代や旅行者からのアドバイスを取り入れて、リピーターを増やす仕組みがつけると良いと思います。



安部 薫さん
(八東オートサービス取締役会長)

萩野

周遊コースについては複数完成させる目標を掲げていますが、当面は「生命の神秘を巡るコース」について、由志園入園客を中心にコース参加者を募り、そこでの満足度やニーズを踏まえ、

最近も免許不要のタイプなど次々と新車が販売されている状況です。大根島の道路（外周県道除く）は、交通量が比較적으로少なく、何よりも景観が抜群に素晴らしいです。自分たちだけの旅のストーリーを求めている友人同士、カップルなどにはとても楽しめるものになると思います。絵地図を活用して周遊する自由度の高いアクティビティが可能となることから、島のリピーターを増やす起爆剤になると確信しています。

大根島にしかないオンリーワンの体験学習と食を満喫しよう

オンリーワン① 牡丹の日本一の生産地

- ・約300種の牡丹との出会い
- ・花と地球上の生命多様性の関係を知る

オンリーワン④ 東洋思想研究 中村元博士の記念館

- ・生命科学の進展と命の尊さとの出会い
- ・「こころの在り方」を知る

移動 電動モビリティ サイクリング ウォーキング

オンリーワンの
★体験学習＋食・観光コース★
～コースを巡る方法～

- 1) おすすめ定番コースから選んで巡る
- 2) 電動モビリティでコース自在のセルフガイドツアー
～絵地図を手に自由に体験・食事・散策を楽しむアクティビティ

おすすめ
グルメ

おすすめ
観光スポット

- ・火山の噴火跡や島の歴史との出会い
- ・恵まれた土壌・水と特産物の関係を知る

移動
電動モビリティ
サイクリング
ウォーキング

- ・珍しい地下生物との出会い
- ・内部からの貴重な火口見学体験

オンリーワン② 日本有数の低火山の活動を物語る珍しい地形

オンリーワン③ レアな生物が生息する溶岩洞窟

PJチームで目指す大根島周遊のイメージ

幽鬼洞調査 中間報告

池田・大根島・江島に「新しい人々を呼び込む3つの挑戦」のうち溶岩洞窟について、プロジェクトチームで誘致した広島大学の放

人気コースとなるよう内容をブラッシュアップしていくこととしています。また、電動モビリティの活用については、採算が合うビジネスになるかどうか、先ずは調査・研究をしていきたいと考えています。また、現在開発が進められている「肩掛けプライベートAI」が実用化されれば、運転中にナビやガイドダンスを聴きながら走行できるように、電動モビリティとセットで利用して頂ければ満足度が大きく向上するものと考えています。

この二つが軌道に乗れば、新しい客層の島周遊者が増え、き、地域経済活性化のサイクルが見えてくるのではないかと期待しています。



R6 4/30 広島大学チームによる放線菌コロニー調査

楽しく島を巡るためのアイテム



線菌研究プロジェクトチームによる幽鬼洞内の放線菌コロニー調査について中間報告します。

今後の展望

Ⅱ 中間報告Ⅱ

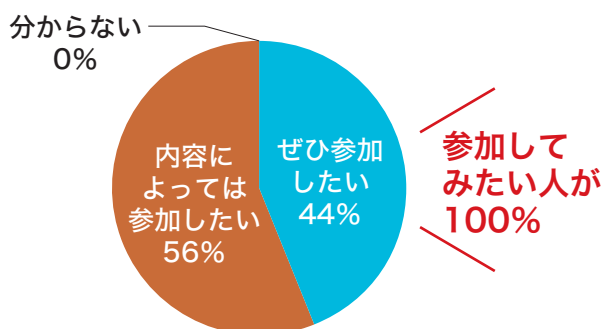
本調査で確認された幽鬼洞由来の放線菌は「薬を作る微生物」であることが分かりました。

今後、広島大学においてDNA配列解析や実験が行われ、詳細が明らかになる予定です。

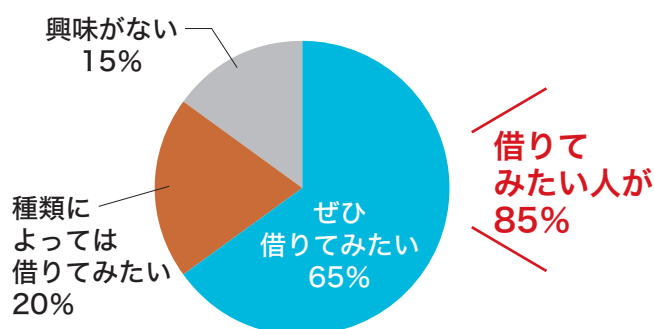
池田・9月・10月に由志園前スタートで実施したコースイベント（試行実施）でのアンケート結果を報告します。下図のグラフのとおり、他のコース参加や電動モビリティを活用した島周遊に対するニーズはとても高いことが分かりました。今後は、電動モビリティを活用したオンリーワンの洞窟探検コースや、推し推しMAPのお店を巡るコースを、このプロジェクトチームで作り上げていきます。

現在、八束町のAIデマンドバスが大変好評ですが、島周遊に効果的なアイテムとなり得る「肩掛けプライベートAI」を加え、将来は「AIの島」としてもPRしていきたいと考えています。

他のコースへの参加希望度



電動モビリティの活用希望度



9/21&10/26イベントでのアンケート結果

中村元博士が残した 『慈しみあふれる言葉』を紹介します⑮

松江市出身でインド哲学・仏教学の世界的権威、中村元博士が残した慈しみあふれる言葉を、八束町中央の「八束複合施設」正面玄関東横にある掲示板で毎月紹介します。掲示内容は「中村博士自身が述べた言葉」の中から、中村元記念館の加藤千乃学芸員が選び、公民館で書道を学ぶ「中央書道サークル（橘淳子代表）」のメンバーが中心となって毛筆でしたためます。



（左から）宮本圓明（白隠宗大本山松蔭寺管長）、清水谷善圭（中村元記念館理事長）、堀内伸二（日印文化交流ネットワーク事務局長）

絶対の愛

中村元のことば

令和六年十一月掲載

【出典・解説】
中村元博士が愛について述べた中の言葉。
「絶対の愛はどこにあるのか。それは、人のなかに現れるものです。人でなくとも、獣にだって現れるかもしれません。獣が人を助けたという話もありますからね。ともかく他の存在を助けるというところに、絶対の愛が現れてくる。」

（中村元『人生を考える』より。）

向上の一路

中村元のことば

令和六年十月掲載

【出典・解説】
「向上」とは、絶対の仏の境地（上）を体得すべく、修行に専心する（向）ことです。したがって、「向上の一路」とは、さとりをめざす一筋の道をいいます。ところで、その道を歩み努めるといのが、人間としての最上の境地であり、純粹のぎりぎりのところですよ。…（中略）考えてみれば、われわれの人生の行路は、何らかの意味で理想をめざす一筋の道です。その間に失敗や挫折もあり、紆余曲折もあるでしょうが、目標を指しているものであるということについては違いはないでしょう。」
（中村元『仏典のことば——現代に呼びかける知恵』より。）

我も人の子、
かれも人の子

中村元のことば

令和六年九月掲載

【出典・解説】
「…この世に生を享けた者であるからには、お互いに幸せに暮らすようにと願うのは、人びとの真実の心情でありましょう。だから「我も人の子、かれも人の子」という思いをもって人びとが進んでいくならば、人びとが争うということもなくなるのではないのでしょうか。」
（中村元『仏教の神髄』を語る』より。）

一番槍

中村元のことば

令和六年八月掲載

【出典・解説】
昭和五十八年（一九八三）、比較思想学会十周年記念大会の時に、会長として最後の講演の中で述べた言葉。
「私は辞任しても、決してこの学会を見捨てるものではありません。決してこういう研究をやめるわけではありません。みなさんのために一番槍となります。昔の城攻めのときに、一番槍は多くの矢を受けて必ず死にます。しかし、その勇気ある行動によって城攻めの道が開かれるのです。」
（中村元『学問の開拓』より。）

あとがき

大根島⑮ 「島石」

島内で産出する石は玄武岩で「島石」といいます。島石は黒色系で多くの穴が見られ、年数が経過すると黒味を増します。

1996年の江島大橋建設時のボーリング調査で、約19万年前の火山噴火による溶岩台地を確認することができました。

明治中期以降、石材加工し易く堅ろうな中硬岩として利用価値が高まり、公共事業の山陰本線の鉄道敷設や、佐陀川改修の基礎材として利用されました。また興雲閣、旧師範学校、旧公会堂、島根県庁、県民会館などの洋風建築物や、白湯天満宮を始め神社仏閣の土台、旧家の石垣等にも島石が使われています。その他、一畑寺には波入講中が寄進した「手水鉢」や、枕木山の華蔵寺には二子地区の資産家が寄進し、多くの入夫が山道を担いで奉納した「下駄つき石」が見られます。（池）